

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	県
	事務事業	いじめ等対策事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	小学校におけるいじめ等の問題行動等に対応するため、児童の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、いじめ等の問題行動等の早期発見・早期対応や未然防止に資する。		
29年度概要	12学級以上（特別支援学級は除く）の小学校にスクールカウンセラーを配置し、いじめ等の問題行動等の早期発見・早期対応や未然防止に資する。 ・小学校48校中36校に配置（1日4時間、年間12回配置） ・事業に要する経費の1/2を市が負担する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）


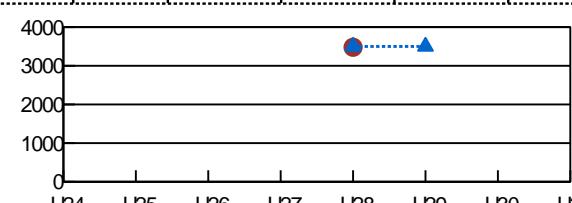
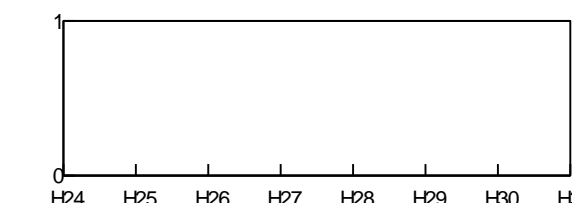
【事業の目的】

対象（何を）	市内小学校の児童、保護者、教員
意図（どのような状態にしたいか）	いじめや不登校等の重大性を認識し、正確かつ迅速な状況把握と早期解決に向けて、小学校の教育相談体制の充実を図るとともに、いじめ等の問題行動等の早期発見・早期対応や未然防止を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
スクールカウンセラー延べ活動時間数	時間			1,680	1,800	1,800

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	小学校におけるいじめ、不登校等に関する相談件数	件	目標値			3,500	3,500	
			実績値			3,479		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） より細やかな児童へのカウンセリングや、教職員、保護者への専門的助言・援助、教職員等への事例研修等、スクールカウンセラーの活用により、問題行動等の減少に繋がっており、目標を達成できている。 	(目標達成度)						(達成度) 99.4% 34点
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	7,610	7,929	7,892	8,377
（事業費）	[円]	3,919	4,090	3,966	4,451
（職員人件費）	[円]	3,691	3,839	3,926	3,926

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） スクールカウンセラーの配置により、早期に相談を行うことで不登校やいじめ等の未然防止に繋がっている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 県事業に対しての負担金の支払いを行っている。学校現場からの配置時間、配置人員等の要望を伝える工夫を行い、より効果のある事業とする。			